

# GUILTY CROWN COUNCIL 002

→ SPECIAL FEATURE

## EGOIST

interview with  
ryo(supercell), chelly, Ai Kayano



WORDS

### PROFILE

#### INORI YUZURIHA

The heroine of this product. A member of "Funeral Parlor." It is a longed-for singer of SHU. I am expressionless, and the atmosphere that is a mystery ass drifts, and the birth is unidentified.

EGOISTはあなたを誘惑し、挑発し、破壊し、葬送する。

世界は、常に選択を迫り。  
そして、正解を選び続けた者のみが生き残る。

The World constantly seeks answers.  
Only those with the right answers survive.

適者生存。  
それが、この世界の理である。

Survival of the Fittest.  
This is the rule of the World.

我々は淘汰される者に葬送の歌を送り続ける。  
故に「葬儀社」。

We are those that send a requiem for those who have been curtailed.  
Thus we are known as the "Funeral Parlor"

その名は、我々が常に送る側であること、  
生き残り続ける存在であることを示す。

The name affirms that we are the ones who relinquish, staking the claim  
that we are the ones that shall survive.



Inori Yuzuriha,  
colored character illustration, drawn for design and modeling.

Credit: Age 16.  
Female vocal for the band "EGOIST" a charismatic band on the Web.  
Also a member of "Funeral Parlor".  
Shu idolizes her, and was the motive for Shu to take  
part into the activities of "Funeral Parlor".  
Her only means of releasing her emotions  
is through singing.



## 誰がEGOISTを恐れているのか？

Who's afraid of EGOIST?

2039年の日本——“今、ここ”にいるわたしたちを象徴するアーティストは？ もしそう聞かれたなら、わたしは「EGOIST」と即答するだろう。……なに？ EGOISTを知らない？ なるほど、それも致し方ないことかもしれない。EGOISTとは、今、若者たちの中で密かな反響を呼んでいるウェブアーティストのこと。「EGOIST」で検索してみれば、熱狂的なコメント群とともに大量の——しかも違法な動画が引っかかるはずだ。

わたしたちがネットを経由して音楽を楽しむようになってから、早10年以上。その間にも、ネット発のアーティストたちが山のように生まれては消えていった。だがそんな凡百のネットディーバとEGOISTには決定的な違いがある。それはまず、その圧倒的な“声”。ノイズに満ちたネットワークの海をゆるやかに漂うような旋律。クリスタルのように硬く、しかし触った瞬間に壊れてしまいそうなメロディ。どこにでも転がっていきそうなラブソングであるにも関わらず、EGOISTの“声”はわたしたちの存在の、一番奥深くに潜むモノを揺り動かす。

もうひとつの特徴は、彼女たち(?)の存在が謎に包まれていることにある。ライヴ活動も行わず、新曲はネットを経由して発表。映像には優美な衣装をまとった少女の姿が映し出されているが、その正体は明らかではない。「EGOISTは現実には存在しない」という噂が、まことしやかに囁かれるゆえんはここにある。まるで現実と虚構のあわいを突くかのような、その歌声。その声は確実に、わたしたちを覆う閉塞感を撃ち抜く。もちろん、その閉塞感の正体は東京湾の上に浮かぶ巨大なアレ——通称xxxxにあるわけだが……(以下、検閲により削除)。

## 茅野愛衣 (樫いのり役)

Comment

——もうすでにアフレコは始まっているわけですが、いのりを演じられてみて、どんな印象をお持ちですか？  
「とにかく謎ですね(笑)。最初は繊細で、か弱そうな女の子って印象だったんですけど、実際にアフレコが始まると“意思が強い子なんだな”って思うようになりました。事前に、リハーサル用のVTRをいただいたんですけど、そこにはchellyさんが歌う劇中歌が入っていて、それを聞いたことでもずいぶんイメージが変わりましたね。結構、芯の強い女の子なんだなって」

——彼女はウェブで人気のアイドルという設定ですよ。[私自身としては、あまりアイドルって印象はなくて、むしろアーティストって言葉がしっくり来るかなって思っています。彼女の可愛さだったり振る舞いは、素の彼女自身から自然と出てるのかなって。監督は椎名林檎さんの名前を挙げてらっしゃったんですけど、あとはcoccoさんだったり、独自の世界観を持ってる方たちを連想させます。ただ、アフレコは中盤まで進んでるんですけど、まだまだわからないことが多いので(笑)。あと、いのりについてはchellyさんも一緒に作っていくものだと思います。歌がついて映像がついて、そこで初めていのりになるのかなって」

——いのりと集、涯の3人が物語の中心になるわけですが、茅野さんから見て集と涯、どちらが魅力的ですか？  
「うーん、困ります(笑)。でもあえて言うなら、今は涯かな。危険な感じに惹かれるというか……でも、まだわかりません。これから先、集くんにも惹かれることもきっとあると思いますし(笑)」

## 彼女は歌う、葬送歌。 もう二度とは会えないってことを知ってたの。



## ryo (supercell)

Interview

気鋭のクリエイター集団・supercellの中心メンバーとして活動するコンポーザー。今年3月に2枚目のアルバム「Today Is A Beautiful Day」を発売しオリコンウィークリーチャートで3位を記録したりとネット発の新世代クリエイターとして熱い注目を集める。

——まず最初に、参加の経緯から伺えますか？  
「2年ほど前に、音楽にsupercellとして参加してほしいと。それとほぼ同時タイミングで、redjuiceさんの方にキャラクター原案の依頼があったんで、そっちの話を聞いたついで、実際に作業に入ったのはキービジュアルが上がってからですね。最初は“SFなのか？”くらいのイメージだったんですけど、実際にこうしてビジュアルが上がってくると“ただのSF、ファンタジーというよりはもっと深いテーマなんだな”ってことがわかってきて。面白いのは当然なんですけど、さらに奥行きがあるというか。そんな印象がありましたね」

——今回のエンディングは、樫いのりが劇中で所属するEGOIST名義になっています。ryoさんのなかでEGOISTはどんなイメージのアーティストなんでしょうか？

「いや、それがよくわからないんですよ(笑)。監督に聞いても“バンドじゃないんです”と。“もしバンドだとしても、ギターがギターの形をしません”っていう話で(笑)。かといってユニットでもなくて、曲を作ってる人がいるのかどうか、劇中ではわからないんです。監督のおっしゃることを僕なりに解釈すると、つまり、EGOISTというのは“歌姫=いのり”をフィーチャーする。そのツールとしての音楽なのかと思っただけです。誰が曲を作って、どんな曲調なのかとか、そういうことは関係ない。歌を通して、彼女が表現する感情の形を“EGOIST”と呼ぶんだろうな、と。ネット上では賛否両論あるっていう設定を考えると、例えばレディ・ガガみたいな存在なのかなって思います」

——まさにEGOISTは、言葉の本来の意味における“アイドル(偶像)”なわけですね。  
「たとえば歌詞をひとつ取ってみても、バツと聴くと年頃の女の子が歌うラブソングみたいに聴こえると思うんです。でもじつはタイトルの「Departures」というのは、日本語に訳すと「おくりびと」という意味だったります。つまりこの歌は、死者を送る葬送歌なんです。そのあたりも

『ギルティクラウン』の、バツと面白そうに見えるんだけど、じつは奥が深い世界観と呼応している。そこまでやって、ようやくEGOISTの曲になるよね、と」

——なるほど。その一方で、オープニングの「My Dearest」はいかにもsupercellらしいソリッドな楽曲ですね。  
「もともとsupercell自身、いろんなアイデアだったり世界観を内包しながら突き進む感じがあって、今回の場合はやっぱり“友達が武器になる”というテーマの部分。ただそれを、そのままトレースするだけではダメだとも思っていて、『ギルティクラウン』というタイトル自体、どこか宗教的なものをイメージさせるものなわけなんですけど、それに対して神は死んだと言っただけの哲学者にニーチェがいる。でも、たぶんニーチェが言ってるようなことって、集くんのような子にとっては“はあ？”ってものだと思うんです。じゃあ、そんな彼らはいったい何を信じればいいのか。そこから「My Dearest(私の最愛の人)」っていうタイトルが来てて」

——歌詞のテーマ的にも『ギルティクラウン』の世界観と被る部分がありますよね。

「そうですね。いつもテーマは設定するんですけど、こういう重いテーマを扱ったことは、supercellでは初めてです。それはもちろん、第3期に入ってボーカルが変わったりとか、そういう事情もあるんですけど、『ギルティクラウン』が重いテーマを真剣に捉えて作ってる作品だから、というのがあります。そういう意味では『ギルティクラウン』がなければ、出てこなかった楽曲だと思いますね」

——では最後に、これから放送を観る方にメッセージをお願いしますか？  
「3月に震災があったこともあって、世間的には“頑張れ！”みたいな風潮がやたら多いですけど、『ギルティクラウン』はまったくそうじゃない(笑)。でも逆説ですけど観ればきっと頑張れる。ぜひ多くの方に観てもらって、共感してもらって、初めて成立する。そういう作品になっているんじゃないかなと思います」

## chelly

(ED主題歌「Departures ～あなたにおくるアイの歌～」EGOIST/いのり ヴォーカリスト)

Comment

——オーディションに合格したと聞いたときに、どんなふうにお感じになりましたか？  
「ポカーン。でした。最初は“まさかね”と思って、取った受話器を置いて一呼吸、お話を頭の中で整理して理解した瞬間、やっとのことで手を動かして右のほっぺをつねりました。痛かったです。“これ現実だ”とわかった瞬間、その場に座り込んで号泣するくらい、嬉しさとしあわせでいっぱいでした」

——「Departures」を最初に聴いたときの印象は？  
「あったかい空気感のなかに滲み出る切なさ、確かな

恋心を見つけました。それを覚えておきつつ、ryoさんのディレクションを大切に、chellyだけができる表現で、みなさんの心にジュワッと沁みるような“アイの歌”をお届けできるよう頑張りました」

——視聴者の方へメッセージをお願いします。  
いのりという女の子を通して、chellyの歌声を多くの方に聞いていただけたら、しあわせだなあとと思います。挿入歌やEDには、わたしなりに考えて導き出した工夫や気持ちを詰め込んでみました。お暇がある時にでも、耳をすませてチェックしていただけると嬉しいです！」

## STAFF

監督:荒木哲郎/シリーズ構成:吉野弘幸/副シリーズ構成:大河内一楼/キャラクター原案:redjuice/アニメーションキャラクター:加藤裕美/総作画監督:矢萩利幸、門脇聡/メインアニメーター:浅野恭司、千葉崇明/メカニックデザイン:竹内敦志/美術監督:竹田悠介/助監督:田中洋之/プロップデザイン:イメージボード:森山洋/主題歌:挿入歌:ryo(supercell)/音楽:澤野弘之/音響監督:三間雅文/音響効果:倉橋静男/アニメーション制作:プロダクションI.G 6課/製作:ギルティクラウン製作委員会

## CAST

桜満集:梶裕貴/恙神涯:中村悠一/樫いのり:茅野愛衣/篠宮綾瀬:花澤香菜/ツグミ:竹達彩奈/莖道修一郎:井上和彦/校条祭:嶋村侑/魂館颯太:阪口大助/寒川谷尋:水島大宙/草間花音:寿美菜子/供奉院亜里沙:遠藤綾/四分儀:子安武人/アルゴ:勝杏里/大雲:高口公介/ダリル・ヤン:内山昂輝 ほか

http://www.guilty-crown.jp/

## 2011年10月より毎週木曜日25:15～フジテレビ“ノイタミナ”ほかにて放送

関西テレビ・東海テレビ・秋田テレビ・若手めんこいテレビ・仙台放送・さくらんぼテレビジョン・福島テレビ・新潟総合テレビ・テレビ静岡・テレビ新広島・テレビ愛媛・サガテレビ・テレビ熊本・鹿児島テレビ・BSフジでも放送開始 ※詳細は各放送局のホームページをご確認ください。



## ニュース

NEWS

ギルティクラウン関連のグッズが続々登場!ご期待下さい。

新ゲストボーカリスト「こゑだ」を迎えた  
新生supercell第一弾!

「My Dearest」supercell (Sony Music Records)

11.23 in stores

作曲・作詞・編曲/ryo  
初回生産限定盤(CD+DVD) 税込1,575円  
通常盤(CD Only) 税込1,223円

●ギルティクラウンがヴァイスシュヴァルツに参戦!  
手に入れたらすぐ遊べるトライアルデッキ  
2011年11月26日(土)発売!  
http://ws-tcg.com/

●月刊少年ガンガンにてコミカライズ  
11月号より連載開始  
構成:宮城陽亮 作画:満月シオン  
http://gangan.square-enix.co.jp/

●PCゲーム  
『ギルティクラウン ロストクリスマス』発売!  
開発:ニトロプラス シナリオ:鋼屋ジン  
http://www.nitroplus.co.jp/game/lost\_x/

●グッドスマイルカンパニーより  
「1/8スケール 樫いのり」が制作!  
http://www.goodsmile.info/

2039年、ウェブ世界に突如として出現した  
アーティスト、「EGOIST」。聞く者を魅了し続ける楽曲を  
収録したニューシングル、発売!  
プロデュースはryo(supercell)!

「Departures ～あなたにおくるアイの歌～」  
EGOIST (Aniplex)

11.30 in stores

作詞・作曲・編曲/ryo(supercell)  
初回生産限定盤(CD+DVD) 税込1,575円  
通常盤(CD Only) 税込1,223円